

生き生き学級・生き生き学校づくり 『体験学習』を教育現場に活用してみる

-学校心理士と臨床心理士と共に学ぶ-

担当者	津村 俊充（学校心理士・南山大学人文学部教授） 楠本 和彦（臨床心理士・南山大学人文学部助教授）
概要	<p>『体験学習』という学び方は、学習者の一人ひとりのいきる力を育てるために米国で生まれたものです。『体験学習』とは、学習者自身の体験をもとに自らが気づき、考える力を養うことを大切にする総合的な学習方法です。個人やお互いの関係を尊重する民主的な風土づくりや人間尊重の教育を目指しています。</p> <p>教育者は、教科教育のありようを考えると共に、学習者－教育者関係、学習者関係、チーム活動におけるグループダイナミクスなどの“関係そのもの”をいかに扱うことができるかが大きな課題です。</p> <p>そこで本講座では、関係の中で起こっていること（プロセス）を観察する能力を高めたり、その関係に働きかけ、その学習の場にいる人々が主体的、創造的に生きることを促進するスキルを磨くトレーニングを行うことを目的にしています。</p> <p>この講座では、一連のプログラムから構成されていますが、参加できる時に1回限りの参加も可能です。お時間の許す限りご参加ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 6月10日（土）グループ活動で生き生き学校づくり <ul style="list-style-type: none"> グループで学習したり、活動する時に起こる様々なことをとらえる視点を養う チームワークづくりのポイント学ぶ 学級で『体験学習』を試みるためのヒント 6月24日（土）一人ひとりの対話のスキルを高めよう <ul style="list-style-type: none"> 対人間やグループ内でのコミュニケーション（話し方、聴き方、関り方）を理解する力、向上する力を養う 子ども達とのコミュニケーションの仕方を考えてみる 学級で『体験学習』を試みるためのプランニング 7月29日（土）『体験学習』の実践報告でスキルアップ <ul style="list-style-type: none"> 『体験学習』を実践した人、している人の話を聴こう 子ども達が生き生きするための関り方を探る 教育者としての『私チェック』を試みる 8月23日（水）&24日（木）宿泊研修で教材づくりとネットワークづくり <ul style="list-style-type: none"> 『体験学習』の教育プログラムを計画、実施するスキルや態度を養う 参加者それぞれが現場で活用できる『体験学習』の教材づくりに取り組む 参加者相互に現場の問題解決に向けてのディスカッションの場を作る <p>講座の内容は各回異なります。お申込みの際、どの回に参加されるかを明記してください。</p> <p>※紀要「人間関係研究」創刊号 2001年に実践研究として、この講座のことが取り扱われている。</p>
日程	6/10（土）、6/24（土）、7/29（土）、8/23（水）～8/24（木） 10：00～16：00
定員	第1回～第3回 各30名 第4回 24名
参加資格	現在教職についている方、子供や青年に対して教育的活動を行っている方。 広くは、何らかの教育にかかわる仕事につかれています。方でも参加可能です。（不明な場合は、お問い合わせください。）
会場	南山大学 D棟 愛知県労働者勤労センター
研修費	各8,400円（消費税ならびに申込金2,000円を含む） 16,800円（宿泊費5,000円は別途徴収）